

平成31年度・令和2年度  
鹿児島県租税教育研究委嘱校

# 租税教育の実際



令和2年11月19日（木）

指宿市立開聞中学校

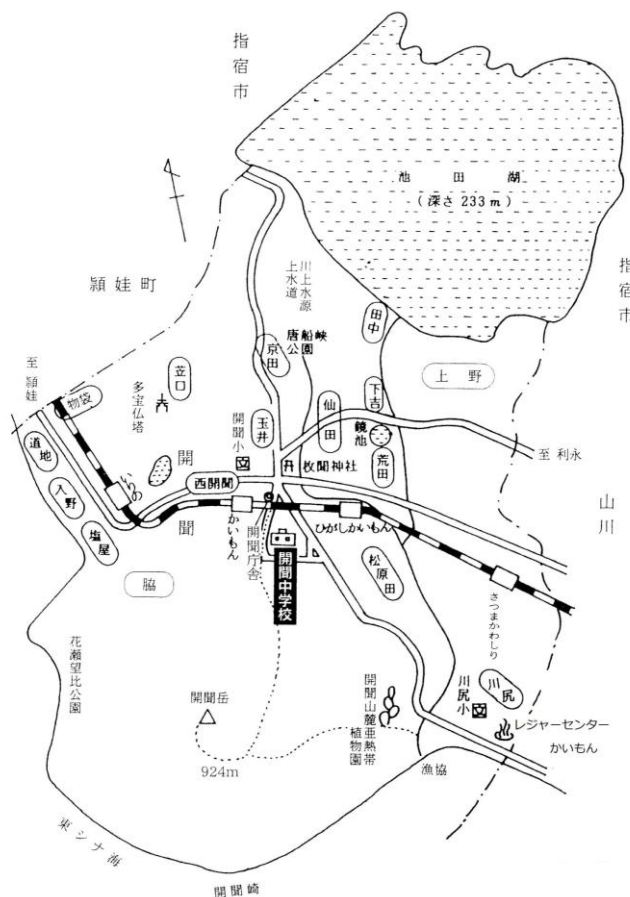
## 目次

1	はじめに	
(1)	校区の概要	1
(2)	本校の概要	1
(3)	開間中学校区がめざす小中一貫教育	1
2	研究の概要	
(1)	研究主題	2
(2)	主題設定の理由	2
(3)	研究の仮説	2
(4)	研究組織	3
(5)	研究の経過及び計画	3
3	研究の実際	
(1)	平成31年度(令和元年度)租税教室	5
(2)	令和2年度租税教室	6
(3)	総合的な学習の時間における取組	9
(4)	生徒会の取組	13
(5)	社会科	14
(6)	美術科	23
(7)	保健体育科	25
(8)	そうめん給食	26
(9)	学校図書館における取組	27
4	研究の成果と課題	
(1)	アンケートの結果と考察	28
(2)	研究の成果と課題	31
5	おわりに	32

# 1 はじめに

## (1) 校区の概要

薩摩半島の最南端東シナ海に面し、開聞岳(標高 924m)・長崎鼻・池田湖(深さ 233m)・唐船峡など美しく豊かな自然環境に恵まれた、観光・景勝ルートの中核に本校があります。枚聞神社のある北部に開聞小学校区、川尻港で栄えた東部に川尻小学校区があり、校区民の教育に対する関心も高く協力的です。



## (2) 本校の概要



校章

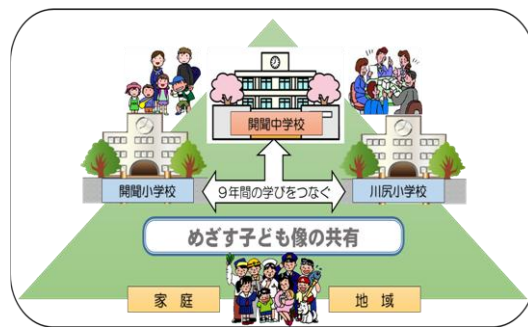
**協創自根  
同造主性**

校訓

創立 49 年の歴史と伝統をもち、学校教育目標「大きな『夢と志』をもち、豊かな心と確かな学力を身に付けた生徒の育成」、校訓「根性」「自主」「創造」「協同」のもと、潤いと感動と自信に満ちた学校づくりを目指しています。特に、教育目標にあるように「夢と志」を培い、自己実現を図るためのキャリア教育を重視し、職場体験学習や漁業・農業体験学習など、職業観・勤労観を培う体験学習に取り組んでいます。

## (3) 開聞中学校区がめざす小中一貫教育

開聞中学校区では、平成 30 年度から、小中連携のこれまでの実績を基に、子どもたちのより豊かな人間性や社会性の育成とさらなる学力の向上を図るために、「小中一貫」の視点に立った教育活動を展開しています。小・中学校 9 年間を一まとまりとして捉え、中学校卒業時の「めざす子ども像」を共有しながら、発達段階や連続性を踏まえたカリキュラムを編成し、学校、家庭、地域が協働して、系統的で連続した教育活動を展開することで、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の調和のとれた『生きる力』を育成することをねらいとしています。



## 2 研究の概要

### (1) 研究主題

租税教育を通して、租税に関する興味・関心を高めるとともに、税や財政についての理解を深めさせ、社会に貢献できる生徒を育成する。

### (2) 主題設定の理由

国民生活や経済社会と密接に関連する税は、私たちの暮らしや社会に欠かせない多様な公共サービスを提供する国や地方公共団体の財源であり、国の様々な制度の中でも根幹的なものである。

日本国憲法で国民の義務に掲げられているように、国民が教育を受け、勤労し、税を納め、持続可能な社会を作っていくことは、民主国家の維持・発展にとって欠かせないことであり、次代を担う子どもたちが、国の基本である税の役割や納税制度の意義、納税者の権利・義務を正しく理解し、国や社会のあり方を主体的に考えることは、民主国家の維持・発展にとって極めて重要なことであると考えます。

また、教育基本法は、「教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行わなければならない」（第1条）と定めているとともに、教育の目標について、「公共の精神に基づき、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う」（第2条1項3号）と定めている。

すなわち、社会や国を支える税の意義や役割を深く理解し、税を通して社会や国のあり方について考える租税教育は、教育基本法の理念に基づいた教育であると考えます。

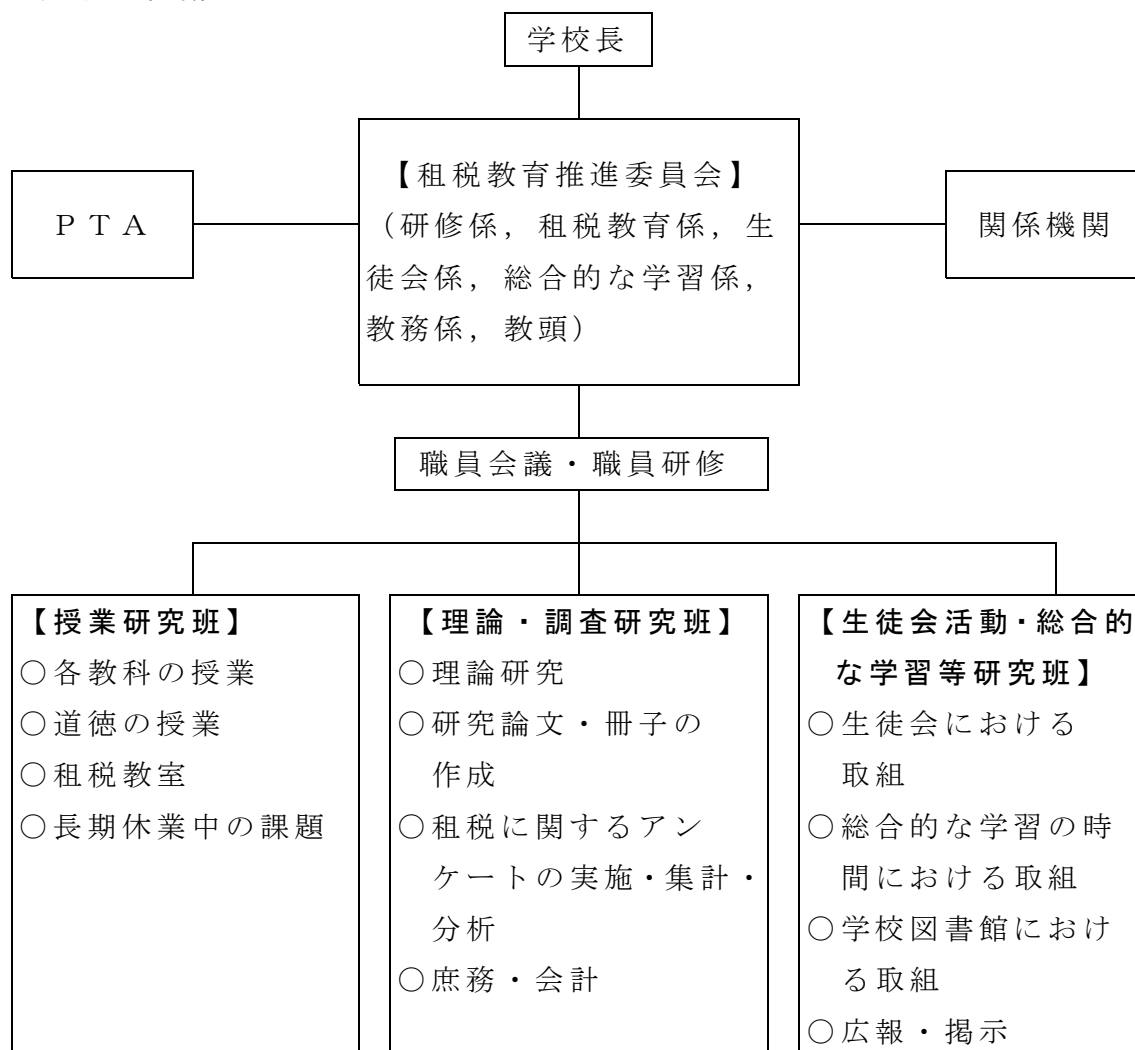
以上のことから学校教育の多くの教育活動において、租税に関連した事項の学習や活動を行うことにより租税に関する興味・関心を高め、税や財政についての理解を深めさせることは、生徒にとって有意義であると考えました。また、租税教育を進めていくことで、公民的資質を身につけさせ、国家及び社会における権利と義務の主体者として自主的に判断し行動するための諸能力を育て、将来社会に貢献できる生徒を育成することは、とても大切なことであると考え、この研究主題を設定した。

### (3) 研究の仮説

(ア) 多くの教育活動において、租税に関連した学習や活動を計画的・組織的に行うことにより、租税に関する興味・関心が高まり、税や財政についての理解が深まるであろう。

(イ) 生徒が主体的・自発的に、租税に関する学習や活動を行えるような場を設定することにより、主体的に行動できる生徒を育てることができようであろう。

#### (4) 研究組織



#### (5) 研究の経過及び計画

1年目 (平成31年度)

月	内 容
5	○租税教育研究委嘱の確認
6	○租税教育についての研究主題, 研究計画等の決定 ○租税教室についての打ち合わせ ○租税教室 (3年生)
7	○税に関するアンケートの実施 ○学期の反省
8	○夏季休業中の課題 「税に関する作文」(社会科), 「税に関する絵はがき」(美術科)
9	○夏季休業中の課題の出品 「税に関する作文」(社会科), 「税に関する絵はがき」(美術科) ○税に関する社会科の授業 (1年生)
10	○税に関する社会科の授業 (2年生)
12	○学期の反省

2	○税に関する社会科の授業（小学6年生体験授業）
3	○初年度の反省

2年目（令和2年度）

月	内 容
4	○令和2年度の租税教育研究計画等の決定 ○始業式における「学校長の話」（租税教育についての意識・動機づけ） ○指宿税務署租税教育担当者との打ち合わせ ○職員研修（租税教育について）
5	○職員研修（租税教育研究会） ○臨時休業中の課題 「税および財政に関するクイズ」の出題 ○3年生租税学習（総合的な学習の時間）
6	○3年生租税学習（総合的な学習の時間） ○3年生租税学習の研究発表会（総合的な学習の時間） ○租税教室についての打ち合わせ（指宿税務署，指宿法人会） ○租税教室（3年生） ○職員研修（租税教育研究会）
7	○保健体育科研究授業（2年生） ○職員研修（租税教育研究会） ○税に関するアンケートの実施 ○学期の反省
8	○夏季休業中の課題 「税に関する作文」（社会科），「税に関する絵はがき」（美術科） ○職員研修（租税教育研究会） ○研究冊子の執筆
9	○夏季休業中の課題の出品 「税に関する作文」（社会科），「税に関する絵はがき」（美術科） ○職員研修（租税教育研究会） ○研究冊子の作成
10	○研究冊子の提出 ○鹿児島県租税教育研究会での発表準備
11	○鹿児島県租税教育研究会での発表
12	○学期の反省
2	○研究のまとめ
3	○2年目の反省

### 3 研究の実際

#### (1) 平成31年度(令和元年度)租税教室

##### 1 目的

- ① 身近な消費税などの税金がどのように徴収され、どのように我々の生活に生かされているかを知る機会とする。
- ② 税務署からの講師招聘により、夏休みの租税作文や租税はがき等、発信する取組に対する意欲付けの機会とする。
- ③ 納税の義務を果たす公民の資質を養う。

##### 2 期日・場所・時間

令和元年6月26日(水) 開聞中学校多目的室 4校時

##### 3 対象生徒

3年生 31名

##### 4 講師

指宿税務署, 指宿法人会青年部会

##### 5 内容

地方税のしくみ, 税の歴史, 税に関するビデオ視聴, 税金クイズ, 質疑応答

##### 6 準備するもの

プロジェクター, スクリーン



【積極的に発表する生徒たち】



【熱心に講師の話を聞く生徒たち】

## (2) 令和2年度租税教室

### 1 目的

- ① 租税に対する興味・関心を高める。
- ② 税や財政についての理解を深める。
- ③ 社会に貢献できる生徒を育成する。

2 日時 令和2年6月24日(水) 4校時(11:45~12:35) 50分

3 対象者 開聞中学校3年生 39名

4 場所 開聞中学校 多目的教室

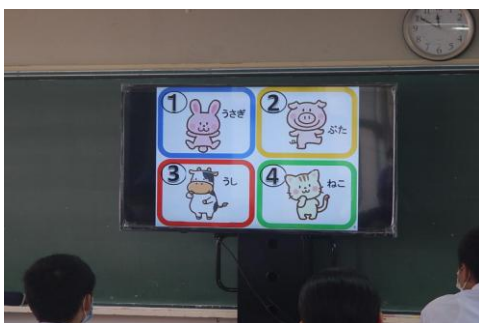
5 講師 指宿法人会青年部会  
指宿税務署

6 内容 「新型コロナウイルス感染症に関連した身近な税について」や「租税や財政に関する事柄」をテーマに、「税の役割」や「租税の大切さ」を学習する。

### 【実際の学習】

※ 当日は新型コロナウイルス感染防止のため、進行・解説を生徒の後方から行い、生徒は正面のモニター画面を見るというスタイルで学習を行った。

- ① 指宿法人会青年部長あいさつ
- ② 税に関する4択クイズ、解説





### ③ グループディスカッション

問い 新型コロナウイルス対策として、あなたはどれを優先しますか？

- (ア) 医療体制の支援・強化
- (イ) 個人への支援
- (ウ) 経済の復活，雇用確保
- (エ) 自粛・感染防止

※ 4つの答えから1つ選び、その理由を発表する。



### ④ まとめ（指宿税務署からの話）

#### 【取組の様子】

総合的な学習で個人テーマを決め、調べ学習を行った後に租税教室を実施したため、講師の説明をよく理解しながら聞くことができたのではないかと考える。グループ活動では「新型コロナウイルス対策への税金の使い方」についてディスカッションを行った。3月～5月にかけて臨時休業を経験し、新型コロナウイルス感染防止のため、細心の注意を払って毎日の学校生活を送っている生徒たちにとってはとても関心の高いテーマであり、熱心に意見交換をする姿が見られた。発表では、8割の班が税金を「医療体制の支援・強化」に使い、新型コロナウイルスを早く収束させてほしいという意見だったのは印象深い。

最後のまとめでは税務署の方から「税に携わる仕事」についての話を聞くことができ、キャリア教育の面からも良い学習の機会となった。

今回の租税教室では、国の税金についてや、コロナウイルスの影響と税金の関わりについて講演してもらいました。少し前に、自分たちで税金について調べていたので、その知識が深まったり、改めて理解することができたと思いました。また、クイズによる質問では、自分ではあまり詳しく知らないことが出てきたので覚えておきたいと思いました。コロナウイルスの影響を考えると、税金をどのように使ってほしいかという質問では他の人の意見と自分の意見を比べたりでき、自分の意見をしっかり持つことができました。これからも、税金について触れる機会があると思うのでまた理解を深めたいです。

使い方に関するクイズはとても楽しかったです。その後のコロナウイルスに関する税金の使い方に対しての話し合いでは自分は日本の経済を回すべきだと思いましたが、みんなは医療に使うべきだと言っていて「や、は？そうか。」とか思ったりもしましたが、話をしているとみんなの意見があるのかなかと思えて納得できました。とても楽しい1時間でした。

最後にこの学習を通して、税の良き環境が少しでも変わると世の中が変わってしまうということ、身近に税が使われていることを改めて知りました。そして、コロナウイルスの影響でいろいろな場所に異変が起きていることも改めて知りました。これからは、この学習のことを頭に入れて社会に向き合っていきたいです。

### 租税教室を受けて

開壇中3年

租税教室がありまして、税については、授業で調べ学習や発表会をしていましたので少しは知っていましたが、丁寧に指導してもらいました。その中で、新型コロナウイルスの影響で国債の発行が増えたことについて学びました。国債は借金で、私たちが返していくことになるので、聞くことになると聞いて、ある思いをもちました。

それは税金の使い道です。ウイルスに感染するかもしれない環境で、精いっぱい働いている医療従事者の方々が、少しでも仕事しやすい環境を整えてほしいです。また、多くの方々が休業などで大変な思いをしています。そういった人たちが、今後安心して働くことができる社会になるように税金を活用してほしいです。

今回の学習をきっかけに、税についての関心をさらに高め、自分たちの未来について考えていきたいです。  
(指宿中)

● 南日本新聞

「若い目」

令和2年

8月14日(金)

掲載

### (3) 総合的な学習の時間における取組

3年生の総合的な学習の時間において、探究活動の一環として、租税や財政についての課題追究学習を行った。第1時のオリエンテーションで、税に関するクイズをしたり、身近な税に関するアニメ視聴を行ったりして、租税や財政に関する生徒の興味・関心を高めた。その後、生徒個人でテーマを設定し、図書室の文献やインターネットを活用した調べ学習や聞き取り調査等を行い、それぞれの課題を追究した。最後は、調査したことをレポートにまとめ、学級の全員が級友の前で自分の研究成果の発表を行った。

探究活動の流れ

日時	内容
5月11日	オリエンテーション
5月18日	テーマ決め
5月20日	調べ学習①
5月27日	調べ学習②
5月28日	調べ学習③
6月2日	発表準備
6月3日	発表準備
6月12日	発表会①
6月13日	発表会②



【オリエンテーションの様子】



【テーマ決め】



【図書室での調べ学習の様子】



【タブレットを使っでの調べ学習】



【共通のテーマを選択した生徒の共同学習】



【発表会】



【発表会】

一人一人がテーマを決めて取り組んだことで、意欲的に課題追究を行う様子が見られた。租税や財政に関する学習活動を進めるにつれて、生徒の興味・関心が一層高まり、お互いに教え合う場面も見られた。また、本年度は、新型コロナウイルスに関することを調べる生徒もおり、『世間の考え』と『税の使い道』をより結び付けた形で考えることができたようである。最後の発表会では、これまでになく自信に満ち溢れた発表をする生徒が多くみられた。それだけ集中し、充実した探究活動ができていたからだと考える。

探究活動を通して、さらに幅広く、詳しく調べたいと発表した生徒も多かった。そこで、今後も継続的に学習ができるように支援していきたい。

【「租税や財政に関する研究」の個人研究テーマ一覧】

- ① 消費税の仕組み。
- ② 公務員の給与が税の理由と事情。
- ③ 日本と世界で、消費税の違いがあるのか。
- ④ 国の財政は、将来どうなるのか。
- ⑤ 鹿児島県で、1番税金が使われているのは何だろうか。その理由は、何だろうか。
- ⑥ 日本の税金は、何種類あるか。
- ⑦ 自動車税が多い県と、少ない県はどこか。その税を何に使っているか。
- ⑧ 財政とは何か。そして、国の財政は、将来どうなるか。
- ⑨ 国の財政は、将来どうなるか。
- ⑩ 新型コロナウイルス感染症対策のために、鹿児島県は税金を使ってどのような仕事をしているか。
- ⑪ 学生に使われている税金は、どんなものがあるか。
- ⑫ 税金を集め、国はどんな仕事をしているのだろうか。
- ⑬ 国の税金の使い道
- ⑭ 指宿市の税は、何に使われているか。
- ⑮ 新型コロナウイルスで、日本の国で1番税金が使われているのは何か。
- ⑯ どういった場所や物、どのようなことに何の税金がかかっているか。
- ⑰ 国税の種類と支出について
- ⑱ 財務省は、どのような仕事をしているのか。
- ⑲ 国の財政は、将来どうなるのだろうか。
- ⑳ 指宿市は、税金を使ってどのような仕事をしているのか。
- ㉑ 新型コロナウイルスが流行する前と、後の財政について
- ㉒ 税金は、どんなことに使われているのか。
- ㉓ 財務省の仕事内容
- ㉔ 税金には、どんな種類があって、税率はどうなっているのか。
- ㉕ 税金の使い方は、どうやって決めるのか。
- ㉖ 日本の税金の使い方、1番多いのは何か。なぜ、それに使っているのか。
- ㉗ 日本で、1番古い税はどういう税なのか。
- ㉘ 国の税金の使い道で、1番多いのは何か。そして、税金の使い方はどうやって決めているのか。

- ②⑨ 税金の高い国と、日本の比較。そして、使い方。
- ③⑩ 新型コロナウイルス感染症対策のために、政府は税金を使ってどのような仕事をしているか。
- ③⑪ 税金の歴史。
- ③⑫ 世界のめずらしい税金は、どのようなものがあって、何のためにあるのだろうか。
- ③⑬ みんながよく知らない税金には、どんな種類があるのだろうか。
- ③⑭ 財務省は、どのような仕事をしているか。
- ③⑮ 国の税金の使い道で、1番多いのは何だろうか。
- ③⑯ コロナウイルス感染症対策のために、政府は税金を使ってどのような仕事をしているか。
- ③⑰ コロナウイルス関係の日本の借金。
- ③⑱ 税にはどんな種類があって、1番古い税は何か。

【「租税や財政に関する研究」の個人研究の例】



**研究テーマ**  
消費税の仕組み

まず、最初に税金とは何か？  
国民の「健康で豊かな生活」を実現するために、国や地方公共団体が行う活動の財源となる。税は自分たちが社会で生活していくための「会費」といえる存在。税金は、個人ではできない様々な仕事(公共サービス等)をしている。学校や、病院、市役所、公園、交番を提供するには、多くの費用が必要になるが、その費用をみんなが出し合って負担しているのが「税金」

**消費税について**  
消費税には、2種類ある。★国へ納めるのは、消費税。★地方へ納めるのは、地方消費税。自分たちが払っている消費税は、商品代の10%。その内、国へ納められている分が7.8%、地方へ納められている分が2.2%と定められている。

**消費税の仕組み**  
例をあげて考える(例)ケーキ屋さん買物  
図Aで例えると、自分が消費税を含む代金をケーキ屋さんに支払う!!  
ケーキ屋さんは、材料を買う市場に  
市場は、商品を仕入れる生産者にお金を払う!!。そして、それぞれが受け取ったお金を税務署に払う。そして、税務署は、そのお金を国へ支払う!!  
★他にも、消費税は、国税(国を守るため世界が困っている人のために使われる税)の中の、年金、医療、介護などの社会保障費にあてられている!!

**<感想>**  
最初は、買い物した時に、商品につくお金だけが、消費税だと思ったけど、消費税は大きく2つに分けられることが分かった。そして、年金、医療、介護などの社会保障費にあてられると知り、年をとっても、自分達を支えてくれる強い税金だと思った。

#### (4) 生徒会の取組

令和元年度から、毎週木曜日の放課後を「生徒会の日」と位置づけ、生徒会活動に積極的に取り組むことができるように日程を工夫した。生徒会活動を活性化させたことで、学校生活における改善点などを話し合い、ポスターでの呼びかけやリサイクル活動の推進など、生徒から提案があり、実践することになった。また、令和2年度においては、元年度の取組を継続しながらも、新たな取組として生徒集会での「税金クイズ」などを実施した。

##### 【ポスターの取組】

右図のポスターは、生活部部長の提案により、作成したものである。校内に、このようなポスターが数多く掲示されている。

〔例〕

生活部：公共物に関するポスターなど

保体部：節水に関するポスターなど



##### 【リサイクル活動】

令和元年度から生徒会本部が中心となり、リサイクル活動の推進と世界の子供たちへワクチンを届けたいという思いからペットボトルキャップを集めている。



##### 【生徒集会での租税クイズ】

生徒集会において、生徒会本部が租税や財政に関するクイズを作成し、出題した。中学生にとって身近な問題を作成し、三択方式で実施した。



(5) 社会科（臨時休業中に出題した「税および財政に関する課題」）

令和2年4月22日から5月6日にかけて、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために実施された臨時休業中には、教科の課題とともに、下記の「税および財政に関するクイズ」を学習課題として出題した。生徒は、楽しみながらクイズに取り組んだようである。

【新型コロナウイルスに負けるな！ 税および財政に関するクイズ】

- 1 新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として、先日、令和2年度補正予算が参議院本会議で可決されたが、その総額はいくらか。  
A～Cから1つ選べ。  
A 5兆6914億円  
B 15兆6914億円  
C 25兆6914億円
  
- 2 1の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策のための財源（お金）は、どのようにしてまかなうのか。A～Cから1つ選べ。  
A 今まで集めた税金をやりくりして使う。  
B 国債を新たに発行する。（借金をする）  
C 国民から新たに税金を集める。
  
- 3 1の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策のひとつとして、全国民に「特別定額給付金」を配布する予定だが、1人あたりいくらか。  
A～Cから1つ選べ。  
A 1万円                      B 10万円                      C 30万円
  
- 4 3の「特別定額給付金」を全国民に配布するためには、いくら必要か。A～Cから1つ選べ。  
A 8803億円    B 1兆8803億円    C 12兆8803億円
  
- 5 令和2年度の日本の国家予算（国が1年間に使うお金）は、いくらか。A～Cから1つ選べ。  
A 約52兆6580億円  
B 約102兆6580億円  
C 約202兆6580億円
  
- 6 令和2年度の鹿児島県の予算は、いくらか。A～Cから1つ選べ。  
A 約539億円    B 約3399億円    C 約8399億円



- 7 令和2年度の指宿市の予算は、いくらか。A～Cから1つ選べ。  
A 約279億6800万円  
B 約579億6800万円  
C 約879億6800万円
- 8 公立中学校の生徒1人に対して、国と県と市が1年間に負担している教育費はいくらか。A～Cから1つ選べ。  
A 約12万円            B 約52万円            C 約102万円
- 9 公立の小学校に入学してから、公立の中学校をへて、公立の高等学校を卒業するまで、国と県と市は教育費として生徒1人に対して、いくら負担しているか。A～Cから1つ選べ。  
A 約156万円            B 約526万円            C 約1126万円
- 10 江戸時代の税金の多くは年貢だった。さて、年貢とは何をおさめていたのか。A～Cから1つ選べ。  
A 米                      B 小麦                      C だいこん
- 11 江戸時代に、実際にあった税はどれか。A～Cから1つ選べ。  
A 犬税                      B 猫税                      C 豚税
- 12 明治時代に、実際にあった税はどれか。A～Cから1つ選べ。  
A たぬき税                B きつね税                C うさぎ税
- 13 次のスポーツの中で、プレイするとき税金のかかるものはどれか。A～Cから1つ選べ。  
A サッカー                B ボウリング                C ゴルフ
- 14 現在、日本の消費税は何パーセントか。A～Cから1つ選べ。  
A 3または5%    B 8または10%    C 10または15%
- 15 みなさんが買い物をして店に支払った消費税は、どの後どうなるのか。A～Cから1つ選べ。  
A 店の収入になる。  
B 店は税務署におさめる。  
C 店は市役所におさめる。

- 16 救急車が日本と同じように、無料の国はどこか。A～Cから1つ選べ。
- A 中国                      B イギリス                      C アメリカ
- 17 次の中で、税金を使って建てられた施設はどれか。A～Cから1つ選べ。
- A 学校                      B 映画館                      C コンビニ
- 18 持っていて税金がかからないものはどれか。A～Cから1つ選べ。
- A 自動車                      B 自転車                      C 家
- 19 市（区）町村が行うごみ処理にかかる費用は、国民一人あたりおよそいくらか。A～Cから1つ選べ。
- A 180円                      B 1800円                      C 18000円
- 20 生活に必要な道路，洪水を防ぐ堤防などを整備するための費用は国民一人あたりおよそいくらか。A～Cから1つ選べ。
- A 1380円                      B 13800円                      C 138000円

答え

1 C    2 B    3 B    4 C    5 B    6 C    7 A    8 C  
 9 C    10 A    11 A    12 C    13 C    14 B    15 B    16 B  
 17 A    18 B    19 C    20 C

【生徒の感想】

税および財政に関するクイズをしてみても、難しい問題や、今では考えられない税金、おもしろい税金など様々な税金がありました。その中でも、私たちには、たくさん税金が使われているんだという事に気付きました。特に、無償で支給されている教科書などは、これからの日本を担う私たちへの期待をこめて支給されているそうです。税および財政に関するクイズを通して、私たちのまわりでは、たくさん税金が使われているということなど、たくさん事を学んだので、このことを忘れず、あたり前の税金に感謝していきたいと思えます。

税および財政に関するクイズでは、楽しみつつ学ぶことができましたのでよかったです。2,3問くらい間違えたけど、答えがあったりしたらうれしかったです。税金は本当に色々なものを使って色々な場所などに使われているのだな、と思いました。他にもどのような税があるのか気になりました。機会があればまた調べてみたいです。

## 社会科（税に関する作文）

夏季休業中の社会科課題の一つとして「税についての作文」を出題している。下記は本校生徒の令和元年度（平成31年度）の入賞作品である。

### 令和元年度 指宿地区納税貯蓄組合連合会会長賞

#### 医療費と税金

指宿市立開闢中学校三年

私には持病があります。小学校二年生の夏から体に蕁麻疹がで、その治療のために定期的に通院しています。母に「治療代の支払いが大変でしょ」と聞いたところ私の住んでいる市では、子ども医療費助成制度という制度があり、中学校三年生修了前までの子どもは負担した医療費の全額が助成される。これは、子どもの疾病の早期発見と早期治療を促進し、子どもの健康の保持と健やかな育成を図ることを目的とした制度と教えてくれた。

私は、この制度によって、別な病気や怪我で病院に入院したり、薬局で薬を買ったりしても健康保険適用分であれば後日返金されることを最近知った。この助成制度があると聞いて私は少しほっとした。なぜなら、小学校二年生のころから、少なくとも月に一回は通院しているため、その分多額の医療費が掛かっている。そのため、私はとても両親に申し訳ない気持ちでいたからだ。

先日、祖母が骨折して入院した。この時も入院代や手術代、装具代と多額の医療費が掛かったが、後期高齢者医療の対象として、多くの助成金がありました。みんなの納める税金のおかげで自己負担額も少なく済みました。他にも、医療費は医療費控除といった自分や家族が一定額以上年間を支払ったときに、納めた税金の一部が戻ってくるといったものもある。これは、確定申告で医療費控除を受けると還付金として戻ってくる。

このように私たちの住んでいる県や自治体によって、さまざまな税金に暮らしを支えられている。もし、税金がなければ私たちの暮らしは苦しいものになってしまうことだろう。

私たちの暮らしは、いろいろなものが税金によって賄われている。そのため税金を納めることはとても大切な事である。これからの私たちの暮らしを裕福なものにしていくためには、今以上に多くの税金が必要となることだろう。だが、今現在日本では人口が減少してきている。そのため一人一人の税金の負担額はますます多くなることだろう。多額の税金を負担することは大変なことだが、私はこれからも税金に感謝し、しっかりと納めるようにしたいと思うている。

### 令和元年度 指宿地区租税教育推進協議会会長賞

#### 租税教室で学んだこと

指宿市立開闢中学校三年

私は、学校で税金について学ぶ機会がありました。租税教室で詳しく教えてもらったのは増税についてでした。消費税が十パーセントに増税されると同時に、軽減税率というものが導入されるという話を聞きました。主に食品と新聞が対象になり、現在と同じ八パーセントのまま、飲食料品には軽減税率の対象にならないものがあることを知りました。食品には、加工食品、生鮮食品、添加物が含まれ、これらが軽減税率の対象になり、酒類、医薬品、医薬部外品は対象外だということや食品表示法に記載されているかどうかによって、対象の飲食料品か分かるということも教えてもらいました。増税については、ニュースなどで見聞きしていましたが、軽減税率によって、増税しないものがあることは初めて知りました。クイズ形式で、軽減税率の対象になるものと対象外のものの違いを考え、解説を聞くことで理解を深めることができました。また、外食時にも十パーセントに増税し、ドライブスルーでは八パーセントのままということも知りました。

諸外国の消費税を比較したグラフを見せてもらい、日本が他の国に比べて税率が低いことが分かりました。十パーセントに増税することを聞いたときは、「なんで高くするんだろう。」と思うていたけど、グラフを見て、税率が二十パーセント以上の国が多くてびっくりしました。人口や経済などで、税率に違いがあることも教えてもらいました。授業の最後には、国の借金を返す方法を発表し合いました。中で一番解決方法として良いと思うものとしてそれを発表しました。税金の授業で学んだことを理由として話す人も多く、授業を受けたことにより、税金への関心も高まりました。増税後の生活で役に立つ豆知識のような話も聞くことができ、家族にも授業で教わったことを伝えることができました。まだまだ、税金についての知らないことがたくさんあるので、自分でも調べてみようと思います。また、租税教室のように、税と深く関わりのある職業の方に話をしてもらう機会があるといいなと思います。

## 2年生社会科学習（歴史的分野）指導案

令和元年10月23日2校時  
開聞中学校 2年

1 主題名 アメリカ独立革命とフランス人権宣言

2 ねらい

- ① アメリカ独立革命（戦争）やフランス革命によって、民主主義と自由で平等な社会が始まったことがわかる。
- ② アメリカ独立革命やフランス革命が起こった原因は、税金であったことに気づく。

3 本時の実際

過程	活動内容	主な発問と指示	時間	指導上の留意点や準備
導入	<p>I アメリカがイギリスの植民地であったことと、独立革命が起こったことを知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>学習のねらい アメリカ独立革命とフランス革命は、世界にどんな影響を与えたのだろうか。</p> </div>	<p>1 「どこの国旗だろうか」</p> <p>2 「アメリカ独立革命とフランス革命の原因と結果を調べていきましょう。」</p>	5分	<p>PPスライド「アメリカ独立時の国旗」</p> <p>PPスライド「独立当時のアメリカ合衆国」（教科書P.134）</p>
展開	<p>II 教科書をもとに、イギリス本国と13植民地で起こった対立の経過や理由をとらえる。</p>	<p>3 「植民地の人々は本国イギリスにどんな不満をもっていたのだろうか」</p> <p>4 「独立宣言から、どんな社会をつくろうとしたのかを考えよう」</p>	15分	<p>PPスライド「独立宣言」（教科書P.134）</p> <p>PPスライド「フランス革命前の社会と革命が目ざす社会を描いた風刺画」（教科書P.135）</p>
	<p>III 教科書をもとにフランスの人々がどのような社会を求めていたのか考える。</p> <p>IV ナポレオンの支配により、フランス革命の精神がヨーロッパ各国に広まったことを理解する。</p>	<p>5 「教科書の資料④を読み解こう」</p> <p>①平民はどの人物か ②石は何を意味しているか ③革命後はどのように社会を目ざしたのか。</p> <p>6 「人権宣言の資料から人々がどのような社会をつくろうとしたか読み解こう」</p> <p>7 「ナポレオンはどんなことをしたのだろうか」</p>	20分	<p>PPスライド「人権宣言」（教科書P.135）</p> <p><span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">歴史の窓</span> ナポレオンの支配（教科書P.135）</p>
終末	V まとめ	<p>8 「アメリカ独立革命とフランス革命が世界に与えた影響を自分なりに文章にまとめてみよう」</p> <p>9 「2つの革命の起こった原因は何だったのか」</p>	10分	<p>租税教育関連の授業なので、税と革命についての感想を宿題とする。</p>

#### 4 評価

- ① アメリカ独立革命とフランス革命によって、民主主義と自由で平等な社会が始まったことを理解できたか。
- ② 税と革命について感想が書けたか。

#### 【授業「アメリカ独立革命とフランス革命」の生徒の感想】

- 今の世の中は、全員に税金を納める義務が平等にある。でも革命前のフランスでは、平民だけに負担義務があった。聖職者・貴族・平民による議会で、聖職者・貴族は自分たちも税金とられることに反対した。だから平民が「我々が国の代表、フランスだ」といったとある。平民の立場に立つと、そう言いたくなると思った。平民が負担するから、聖職者・貴族は無責任に反対するのは、本当に自分たちの国の問題と思って、まじめに意見し考えているのかと思った。どの立場でも納得できるのは難しいけど「もっとよりよくしてくぞ」という気持ちをもって、それなりの覚悟をしてのぞんでほしい。
- 税金だけで市民は革命をおこせるのだなと思った。でも、税金を納めているのは平民だし、怒るのは当然だと思う。
- 革命を起こして正解だと思います。なぜなら話し合いに参加していない(アメリカ)、貴族は税金を払わない(フランス)のはおかしいからです。払うなら皆平等にして、植民地の人も話し合いに参加させるべきだと思います。
- アメリカ独立革命とフランス革命について、私は同意もなく一方的に課税されることは悪いことだと思いました。もし、代表が話し合いをして課税されることとなったら、仕方がないと思います。だから会議に参加していない国は革命を起こし、会議に参加している日本は革命が起きないのだと思いました。
- 税金を国のためにはらっているのに平等に話し合いに参加できないということで、革命をおこしたのはすごいなと思った。行動力があるんだなと思った。

# 小学6年生社会科学習（6年生体験授業）指導案

令和2年2月6日 4校時  
開聞中学校 多目的室  
開聞中学校校区の6年生

1 主題名 人生ゲームで税金を知ろう（税の分類）

2 ねらい

- ① ゲームを通して納税をシュミレーションし、いろいろな税金があることがわかる。
- ② 国税・地方税の分類と直接税・間接税の分類を理解できる。

3 本時の実際

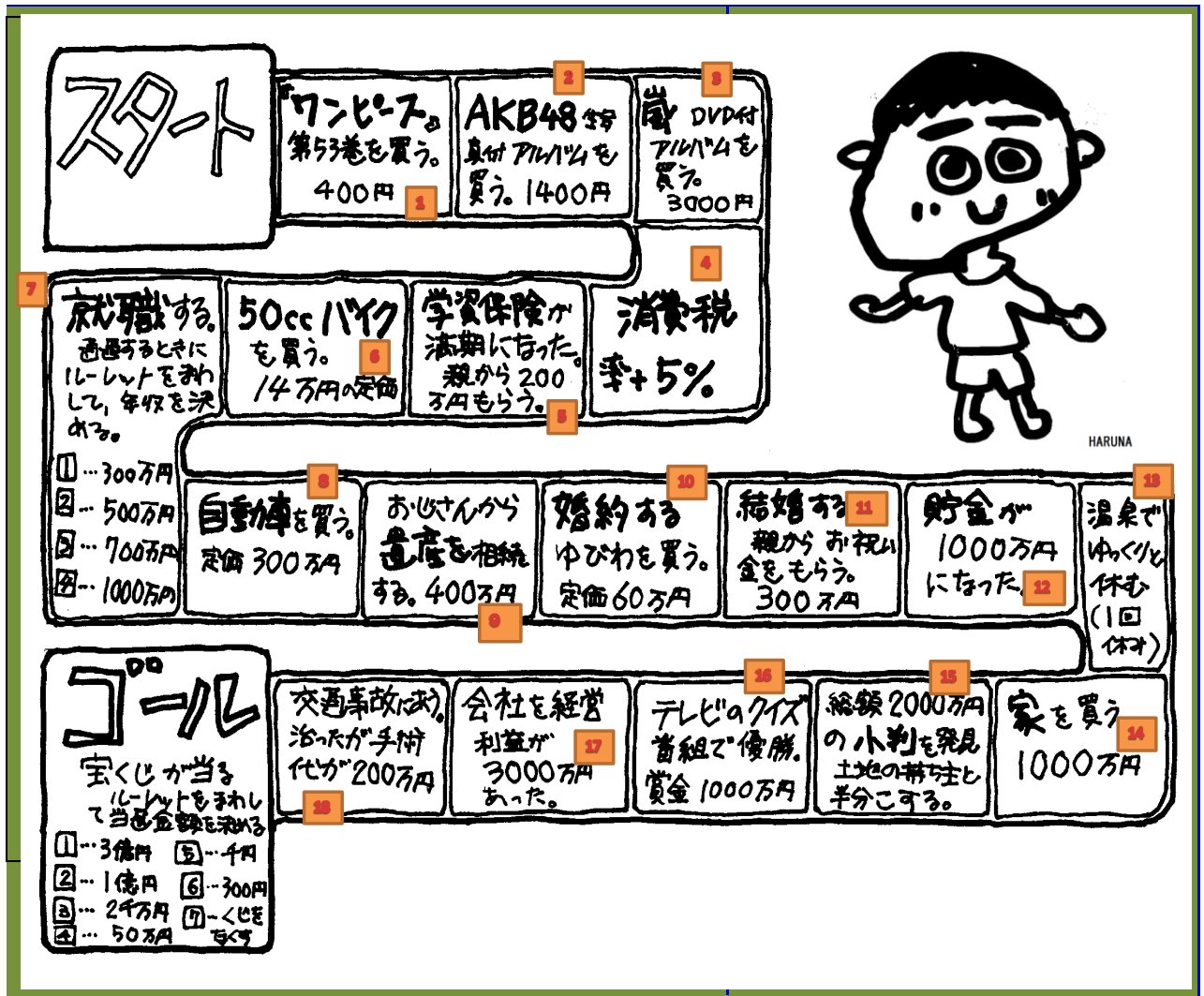
過程	活動内容	主な発問と指示	時間	指導上の留意点や準備
導入	<p>I 学習内容を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">                     学習のねらい 税金の種類や内容について理解する。                 </div>	<p>1 大型ディスプレイのルーレットを回す。</p> <p>2 「ゲームをやりながら、税金の種類や内容について学習します。」</p>	5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーレットソフト『PapapamR』</li> <li>・コンピュータ</li> <li>* 5～6人編成の班をつくる。</li> <li>6班・班を作って着席</li> <li>* ワークシートの配布</li> </ul>
展開	<p>II 「人生ゲーム」を班対抗で行う。</p>	<p>3 ルールとルーレット操作方法の説明をする。</p> <p>① ルーレットを回して、駒を進める。</p> <p>② 駒が止まったセルの内容について、説明を聞く。</p>	30分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「人生ゲーム」(ボード)は黒板に貼る。駒(①～⑥の班番号マグネット)の準備</li> <li>* ルーレットを回す順番(班内で)を決める。(左周りに)</li> <li>・T2は順番の生徒を促す。</li> <li>* T1は、税の説明をした後、税の名まえのカードを黒板の表の中に張り付けていく。</li> <li>* 税金の名まえのカードには全てふりがなを入れておく。</li> </ul>
	<p>III 税金の種類・内容についてまとめる。</p> <p>* 直接税と間接税，国税と地方税に分類された表をもとに考える。</p>	<p>4 「この表の枠の中に入っている税金の共通点は何だろうか。」</p> <p>→「国に納める税と，市や県に納める税だ。」</p> <p>→「買ったときや納める税じゃないかな」</p>	10分	
終末	<p>IV 授業の感想を書く。</p>		5分	

4 評価

国税・地方税の分類と直接税・間接税の分類を理解できたか。

5 その他

時間に余裕があれば，確かめの用語ドリルを行う。（ドリルは列順で行うので，席順の名簿の準備をしておく）



【ルーレット画面】



【税金の説明シート】

4 このマスに止まったら消費税率+5%アップ

**消費税**

**消費税を**

10%に

**します。**

消費税には、国に納める「消費税」と、県・市に納める「地方消費税」があります。

合計	消費税(国)	地方消費税(県・市)
10.0%	7.8%	2.2%

5 学資保険が満期になった

**どうぞ 贈与税**

学資保険が満期になった。親から200万円もらう。

お金や物もらった(贈与された)ときにかかる税金。

親が、ぼくを進学させるために貯めたお金にも、税金がかかるのかなあ...

贈与税は、国に納める税金です。

※お小遣いには贈与税はかかりません。

13 ここに止まったら1回休み

**温泉で休む**

入湯税 150円 市に納める

入湯料 450  
入湯税 150  
温泉代合計 600

入湯税は、わたくしどもがまとめて市役所に納めてきます。

ルーレット 1回休み

7 就職する (年収をきめる)

**就職した**

働いて得た収入(給料)などにかかる税金。収入の多いほど、税金が高くなる。

この仕組みを **累進課税制度** といいます。

住民税 県民税 市民税

課税総所得金額	税率	税額
195万円以下	5%	0円
195万円を超え 330万円以下	10%	97,500円
330万円を超え 695万円以下	20%	427,500円
695万円を超え 900万円以下	23%	636,000円
900万円を超え 1,800万円以下	33%	1,536,000円
18,000,000円以上	40%	2,796,000円
4,000万円超	45%	4,796,000円

例えば、課税される総所得額が700万円の場合  
700万円×0.23＝161万円＝161万4千円

18 医療費に消費税はかかるか

**事故で入院**

入院費用 200万円  
消費税は？

医療費に消費税はかかりません。

【6年生の感想】

- 人生ゲームをするのが楽しかったです。税金の種類がたくさんあって、すごいと思いました。
- 楽しみながら税金のことを学ぶことができた。中学校に早く行きたくなった。「直接税」と「間接税」,「国税」「地方税」のちがいもよく分かったのでよかったです。人生ゲームもとても楽しかった。
- 今日、税金の勉強をしていろいろな税金があるのだなと思いました。直接税や間接税があるのだなと思った。これから自分が大人になるから、いろんなことをおぼえておきたいです。
- ぼくは社会がにがてできらいだけど、今日やったのは税金のことについて楽しく楽に学ぶことができた。中学生になったら、税金のことをもっと知っている人になりたいです。



(6) 美術科 (税に関する絵はがきコンクール)

毎年、夏休みの課題として、「税に関する絵はがきコンクール」の制作に取り組んでいる。令和元年度は2点の作品が入選した。

今年度も、夏休み前の授業で「税」とはどんなものがあるか、また、私たちの生活のどのようなところで、税が使われているか考えて、「税に関する絵はがきコンクール」の下絵を描いた。3年生は、総合的な学習で「租税教育」に取り組んだので、税金についてよく考えた作品が多い。

【令和元年度入賞作品】



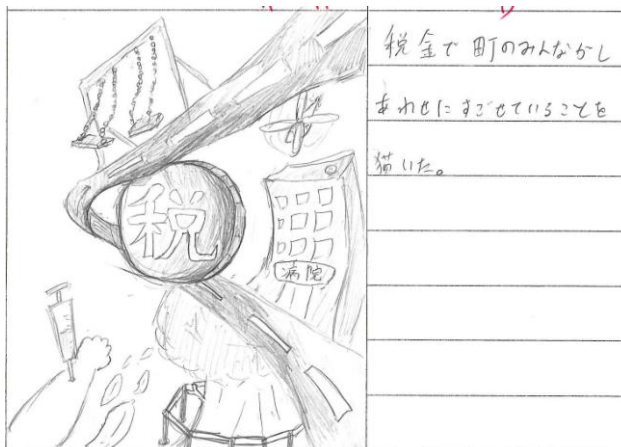
【令和2年度下絵】



僕は、税金の調べ学習で税金について、いろいろなことを知りました。やはり税金は僕たちにとって、暮らしを支える心強い味方なんだ!と思ったので、公共物等の物を大切に扱いたい、という思いでかきました。



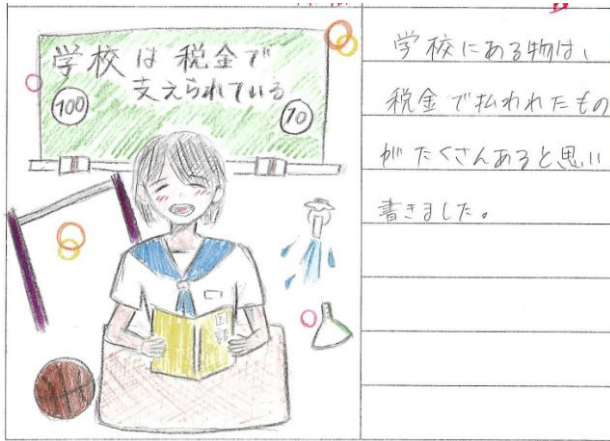
税金のおかげで安全な校舎が、学校に行けるので笑顔でいられます。税金はいろんな人が払っているのだから大切にしたい。



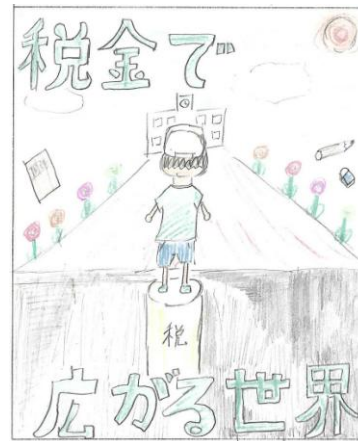
税金で町のみんながしあわせに暮らしていることを知りました。



税金はみんなから出さるお金の中で税金で使われているものを大切にしたい。

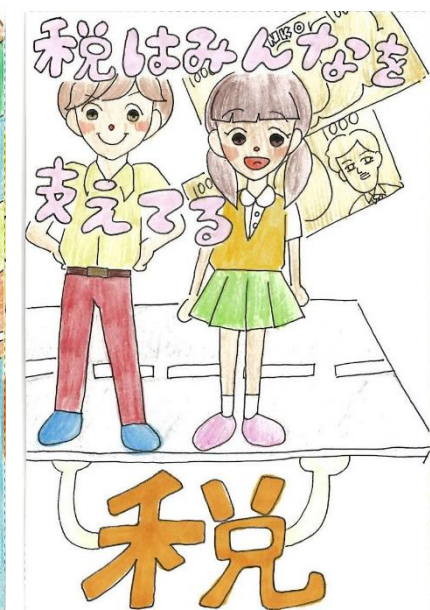
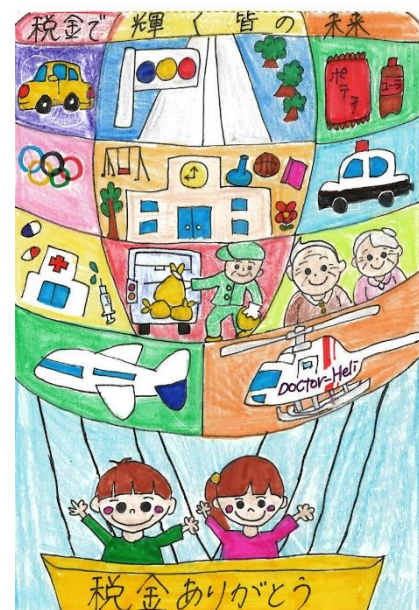


学校にある物は、税金で払われたもの。おたくさんあると思います。書きました。



この絵は、子供が社会に出るために勉強をするために税金が必要だと表しています。税金のおかげで教科書もあります。

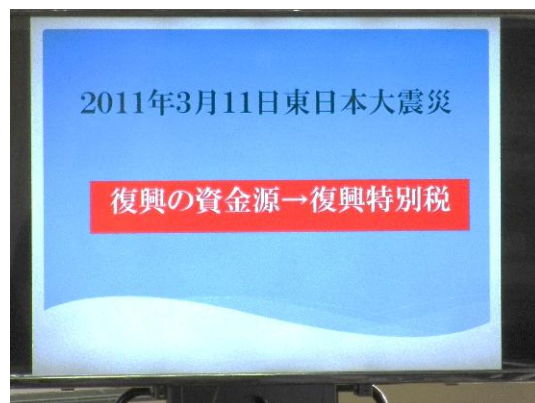
【令和2年度作品】



(7) 保健体育科の授業（授業の終末で、復興税についての説明）

令和2年7月6日実施

	学 習 内 容	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入 8 分	1 自然災害にはどんなものがあるだろうか。（発問1）	・自然災害の種類について考え、ワークシートへ書き、発表する。	○ワークシートを配布する。 ○数名の生徒に発表してもらう。 ○黒板に板書する。 ○小黒板にて掲示説明。
	2 学習目標の掲示  (学習目標) 自然災害への対応と災害への備えはどうすれば良いのだろうか。	・学習目標を理解する。	
展 開 34 分	3 過去の大地震からどのような被害が考えられるだろうか。（発問2）	・ワークシートに予想される地震の被害について書き出す。	○近くの人と話し合ったり、真似したりしても良いことを伝える。 ○数名に発表してもらう ○ネットのVTRを5分程度視聴。
	4 VTR視聴	・阪神淡路大震災のVTRを見て予想した被害を確認する。	○P・Pを活用し簡単に説明する。その際、二次災害に触れる。
	5 とるべき行動と何を備えておくべきかまとめてみよう。（発問3）	・地震が発生したとき、被害を最小限にとどめるために重要なことを項目別にまとめる。	○グループ（6）を作らせ、項目別に色分けした付箋に自分の考えを書かせシートに貼らせる。 ○グループを巡視し、必要に応じて質問等に対応する。
終 末 8 分	6 地震災害に対する心得を考えよう	①何を備えておくべきか（青） ②とるべき行動（黄） ③情報の収集方法（赤） ・グループでまとめた意見を発表する。 ・心得についてグループで話し合いホワイトボードにまとめる。	○いくつかのグループに発表してもらう。 ○未発表のグループに発表してもらう。ホワイトボードを使って説明発表してもらう。
	7 本時の学習を振り返り、まとめをする。	・これまでの学習で分かったことをキーワード3つにまとめる。  ・東日本大震災の復興が税によって進められていることを知る。  ・VTR視聴	○キーワードをP・Pで確認し学習内容の定着を図る。 <キーワード> 災害への備え安全な避難 情報収集 ○租税教育として、復興と税の関係について説明する。



## (8) そうめん給食

本校では、毎年3年生で郷土教育の一環として「そうめん給食」を実施している。生徒は、これまで「唐船峡そうめん流し」の歴史等について学習してきた。そして、今年度は総合的な学習の時間において、指宿市の「唐船峡そうめん流し事業」の決算状況をみんなで調べ、考察した。指宿市の観光産業、財政にとって欠くことのできない「唐船峡そうめん流し事業」であることを学んだうえで「そうめん給食」に臨んだ。

### 【第35回 開聞中学校そうめん給食】

#### 1 目的

- (1) 郷土を実際に見聞し、郷土食を食べることにより、郷土への関心を深めさせ、郷土に誇りと愛情を持つ生徒を育成する。
- (2) 給食の場を校外に設定し、校外給食を通して教師と生徒及び生徒同士の間人間関係を深めさせ、相互の和を図る。
- (3) 市の財政と直営事業との関係や地域住民の雇用拡大について理解させる。

2 期日 令和2年6月26日(金) 11:45～13:20

3 場所 市営「唐船峡そうめん流し」

4 対象 3年生→39名，引率→校長・3年部職員…5名 計44名

5 経費 一人当たり 1,370円 (計 60,280円)  
(経費の支払いは、前年度の甘藷収益金を充てる)



## (9) 学校図書館における取組

本校で、租税コーナーを作成するにあたり、身近な“お金”という存在を意識してもらおうと、お札・(おもちゃ)の扇子を置いたり、租税(TAX)を立体にしたりして租税コーナーに興味を引くようにした。次に、TAXとはなにか? TAX表示の周りに税に関する疑問を掲示し、めくれば答えがわかる形にし、クイズ形式で楽しめるようにした。さらに、各学年が調べ学習をするときに利用しやすい、イラストが多く、マンガ形式ややさしい言葉で書いてある蔵書を増やした。

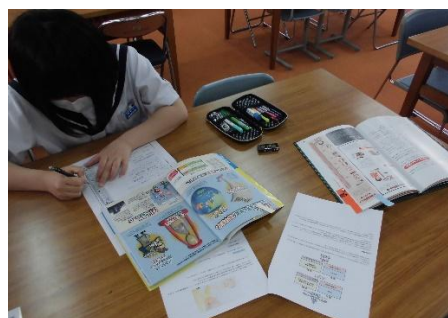
本を収集するときに、『お金持ちになるにはどうするの?』『フリーターになるとどうなるの?』など、生徒に身近に感じられる題名に注目するような配置にした。

3年の調べ学習では、インターネットよりもグラフやイラストがわかりやすいと積極的に図書室の本を活用する生徒もいた。また、タイトルから他学年も興味を持ち、TAXコーナーの本を手にとっていた。

### 【掲示の様子】



### 【生徒の様子】



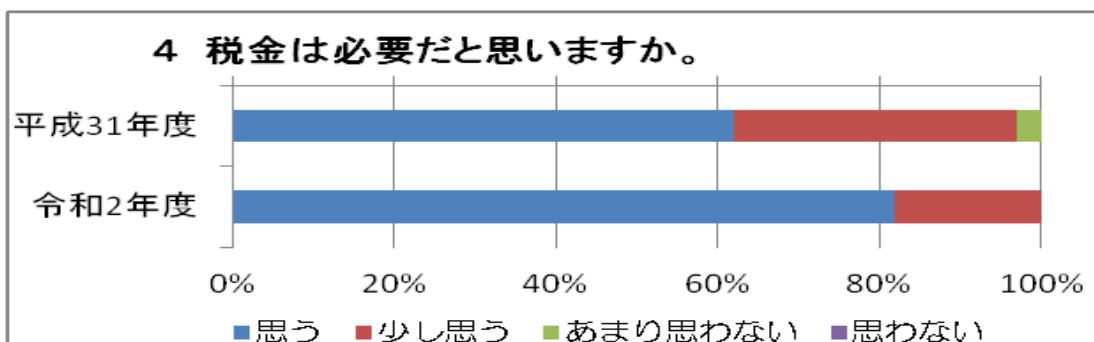
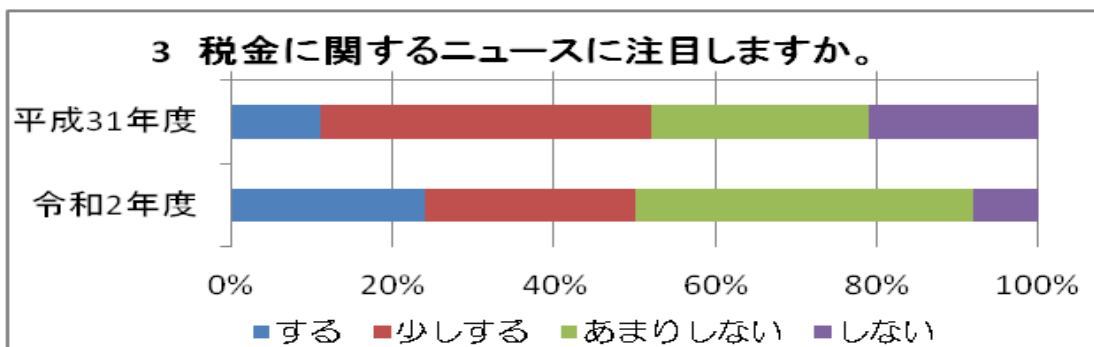
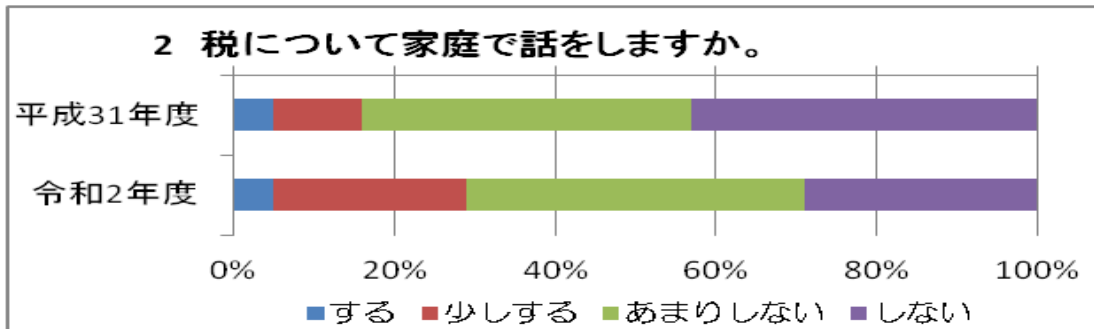
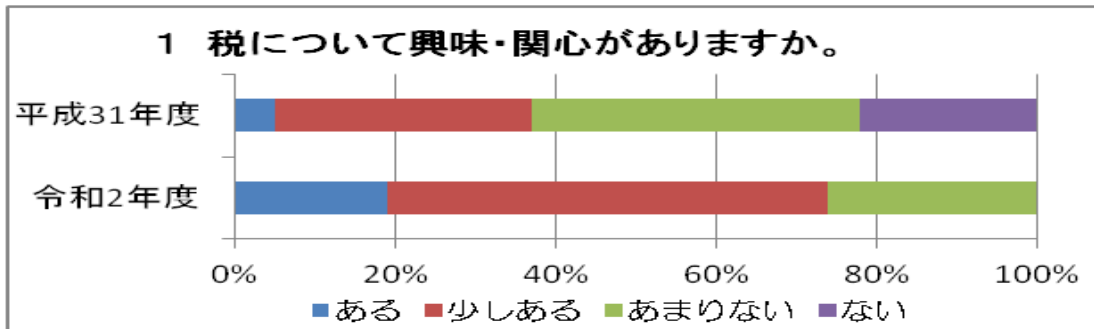
## 4 研究の成果と課題

### (1) アンケートの結果と考察

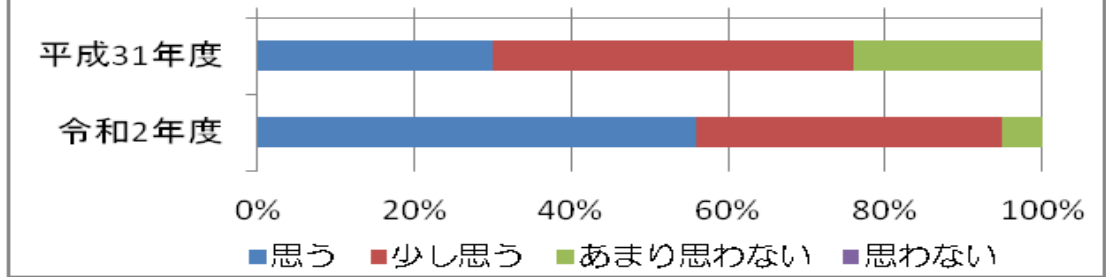
生徒の実態と変容を把握するために、令和元年7月（平成31年度）と令和2年7月（令和2年度）に同じ内容の「税に関するアンケート」を実施した。同一年生の変容をみるために、前年度の2年生と本年度の3年生とを、前年度の1年生と本年度の2年生とを、それぞれ比較した。

#### 【アンケートの結果】

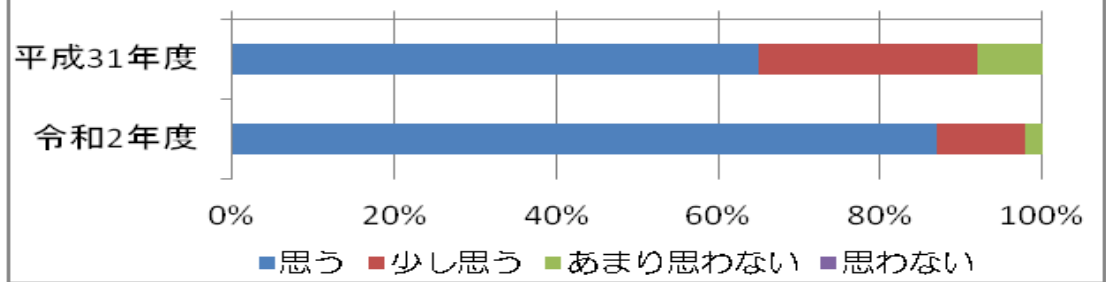
##### 令和2年度の3年生（平成31年度の2年生）



### 5 税金に関する学習は必要だと思いますか。

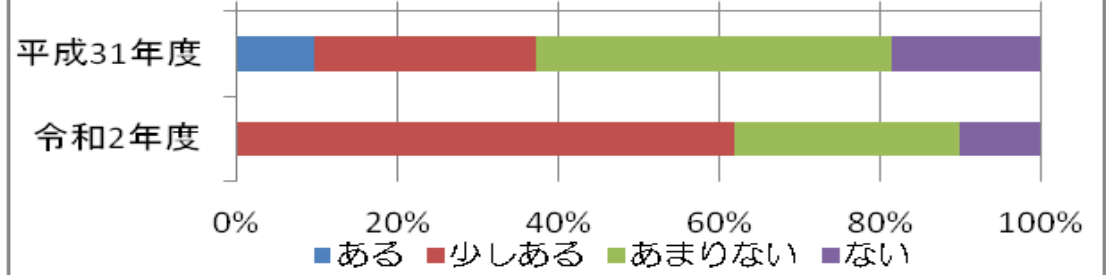


### 6 税金は私たちの生活に役立っていると思いますか。

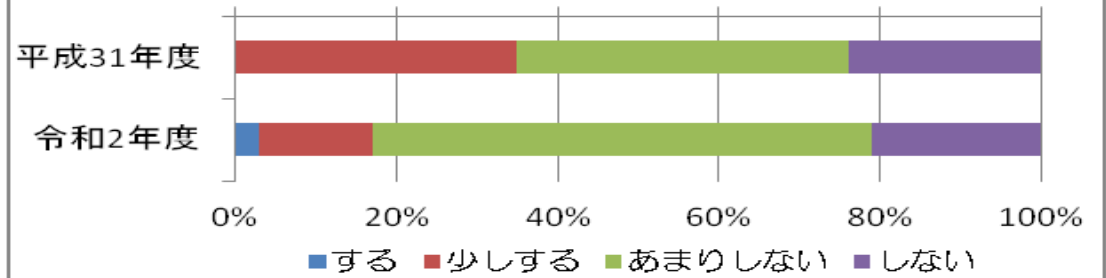


令和2年度の2年生（平成31年度の1年生）

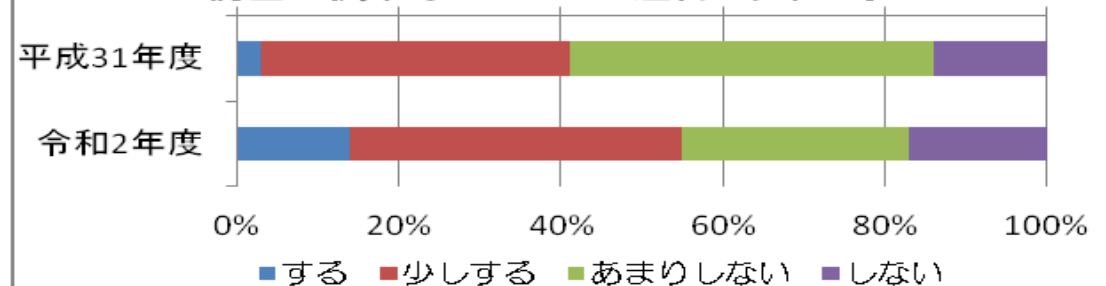
### 1 税について興味・関心がありますか。

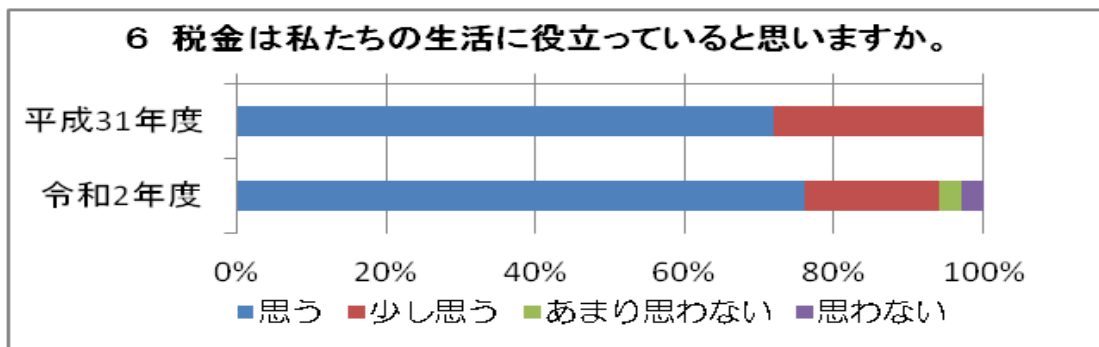
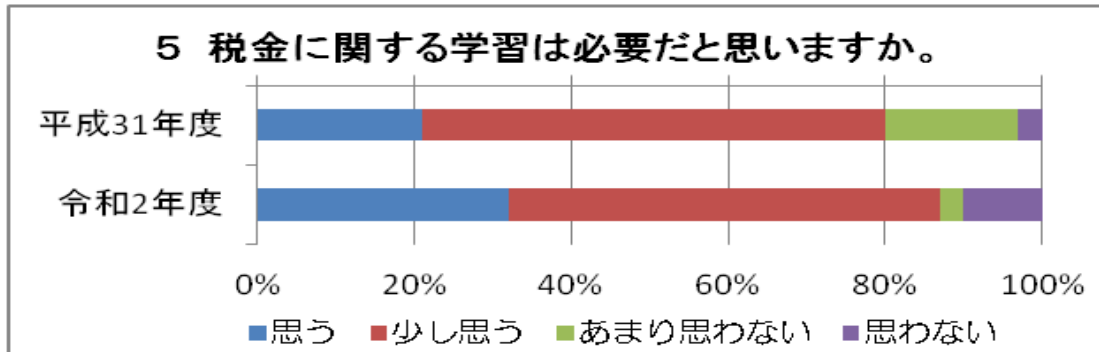
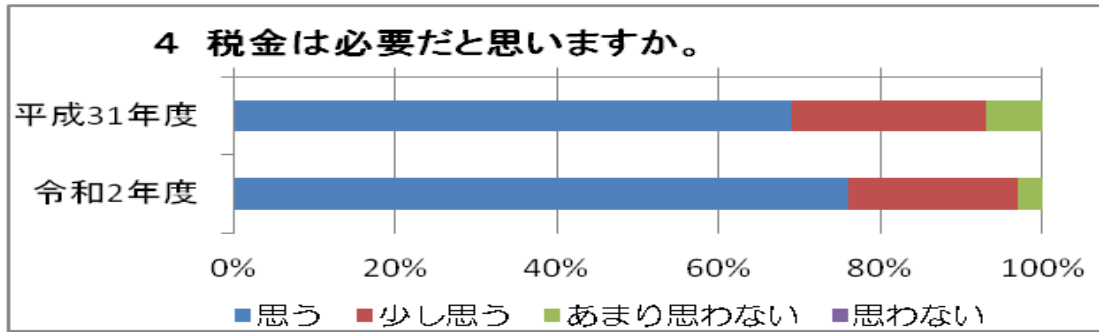


### 2 税について家庭で話をしますか。



### 3 税金に関するニュースに注目しますか。





**【考察】**

「1 税について興味・関心がありますか。」

3年生については、「ある」「少しある」が前年度 37%であったが、本年度は 74%と、税に関する興味・関心がかなり高まっている。

2年生についても、「ある」「少しある」が前年度 38%であったが、本年度は 62%と、興味・関心が高まっている。

「2 税について家庭で話をしますか。」

3年生については、「する」「少しする」が前年度 16%であったが、本年度は 29%と、増加している。

2年生については、「する」「少しする」が前年度 35%であったが、本年度 17%と、減少している。

「3 税金に関するニュースに注目しますか。」

3年生については、「する」「少しする」が前年度 52%であったが、本年度は 50%と、若干減少している。

2年生については、「する」「少しする」が前年度 41%であったが、本年度 55%と、増加している。



「4 税金は必要だと思いますか。」

3年生については、「思う」「少し思う」が前年度 97%であったが、本年度は 100%と、全員が肯定的に捉えている。

2年生についても、「思う」「少し思う」が前年度 93%であったが、本年度 97%と、増加している。

「5 税金に関する学習は必要だと思いますか。」

3年生については、「思う」「少し思う」が前年度 76%であったが、本年度は 95%と、かなり増加している。

2年生についても、「思う」「少し思う」が前年度 80%であったが、本年度 87%と、増加している。

「6 税金は私たちの生活に役立っていると思いますか。」

3年生については、「思う」「少し思う」が前年度 92%であったが、本年度は 98%と、増加している。

2年生については、「思う」「少し思う」が前年度 100%であったが、本年度 94%と、やや減少している。

以上の結果から、これまでの租税教育を通して、税に関する興味・関心を高めるとともに、税や財政についての理解を十分に深めることができたと考えられる。しかし、「税について家庭で話をしますか。」という問いに対しては、平成 31 年度・令和 2 年度ともに低い結果であった。このことから、家庭への啓発が課題である。

## (2) 研究の成果と課題

### (ア) 成果

- ① 多くの教育活動において租税教育に取り組んだことにより、税についての興味・関心を高めることができ、税金に関する学習は必要であると感じている生徒が増えた。
- ② 租税の意義や役割を正しく理解し、税金は必要であり、私たちの生活に役立っていると考えられる生徒が増えた。
- ③ 学校をはじめ、自分の身近なところに多くの税金が使われていることを知り、公共物や学校の備品・設備、教科書等を大切にしようという意識が高まった。
- ④ 3年生は、総合的な学習の時間において税や財政に関する個人テーマを自ら設定し、追究することにより納税者として社会や国のあり方を主体的に考えることができた。
- ⑤ 総合的な学習や租税教室、社会科の授業等で習得した租税や財政に関する知識・理解をもとに、3年生がリーダーシップを発揮し、生徒集会で全校生徒参加の「税金クイズ」を行った。

- ⑥ 税や財政に関する学習や活動を進める中で、新型コロナウイルス感染症拡大への対応策として国や地方公共団体がどのようなことに取り組んでいるかに着目し、調査・研究に主体的に取り組む、深く考察した生徒が多く見られた。

#### (イ) 課題

- ① 学校通信や学級通信等で学校における租税教育への取組状況を繰り返し紹介してきたが、多くの家庭で税について話すことはあまりなかったようである。今後、保護者への啓発が必要である。
- ② 1年目は社会科中心の租税教育であったが、2年目は多くの教育活動で租税教育に積極的に取り組むことができ、その成果が表れた。今後もさらに計画的・組織的に取り組んでいく必要がある。

### 5 おわりに

2年間にわたり、租税教育研究委嘱校として、「租税教育を通して、租税に関する興味・関心を高めるとともに、税や財政についての理解を深めさせ、社会に貢献できる生徒を育成する。」を研究主題として取り組んできた。

現在、世界中で新型コロナウイルス感染症が拡大している。わが国でもこの感染症をこれ以上拡大させないよう、また、感染症拡大により困っている人々を助けるために様々な対策が取られている。国は、国民へのマスク配布や1人あたり10万円の特別定額給付金、休業を余儀なくされている企業に対して事業継続のための持続化給付金の支給等を行っている。さらに各都道府県・市町村では、感染防止に協力した店舗や企業に協力金の支給を行う等の支援策に取り組んでいる。

これらの経費や給付金・支援金等は、税金や国債で賄われているということを学んだ生徒に対してアンケートをとると、「税金は必要だ。」「税金に関する学習は必要だ。」「税金は私たちの生活に役立っている。」と、ほとんどの生徒が答えた。

また、本年度の租税教室において「コロナ対策として、あなたはどれを優先しますか？」という質問に対して、「個人への支援」「経済の復活、雇用確保」「自粛、感染防止」を抑えて、約8割の生徒が「医療体制の支援・強化」と答えた。今、頑張ってくださっている医療従事者の方々への資金援助、人工呼吸器や医薬品の確保、PCR検査の拡充、ワクチンの開発等に対して、優先的に税を使ってほしいという意見が多く聞かれた。

さらに、ある生徒は、将来の世代に大きな負担を負わせることになる国債の発行には、基本的には反対であるが、コロナ対策として国債を発行することには賛成であると発表し、多くの級友の賛同を得ていた。

以上のことから、これまで本校で取り組んできた租税教育は、次代を担う生徒たちが、租税の意義や役割を正しく理解し、社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、さらには納税者として社会や国のあり方を主体的に考える自覚を育てるという目的を概ね果たし、社会に貢献できる生徒の育成におおいに役立ったと考える。これからも、継続して租税教育に取り組み、今回明らかになった課題の解決を図り、さらに充実した租税教育にしていきたい。

最後に、今回研究の機会を与えてくださった鹿児島県租税教育推進協議会をはじめ、租税教育の研究・実践に際して、御指導・御協力をいただいた指宿税務署、指宿法人会青年部会、その他関係機関の皆様に心から感謝申し上げます。